

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 42

平成30年3月30日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題

出雲市の人・農地プランの中心経営体が555名に！
～集積・集約に向けて、GO(5)！GO(5)！GO(5)！～

(ダイジェスト)

3月26日に平成29年度の出雲市「人・農地プラン」検討会が開催され、前回(H27.11.24)より115経営体多い、555経営体が位置付けられました。

今後は出雲圏域の「多様な担い手の確保・育成プロジェクト」で取組むことにしている「地域カルテ」の作成を通して、農地の集積・集約化を加速化することとしています。

出雲市では人と農地の将来設計図と言われる「人・農地プラン」を検討するため、平成24年9月に出雲市「人・農地プラン」検討会を設置し、計画的に更新をしています。また、地域の実情を踏まえながら策定するため、市内を6つの地域(ブロック)に分け、定期的に見直しを行っています。

都合により2年4か月ぶりに開催された今回は、前回に比べて法人が19経営体、個人が73経営体、集落営農(任意)が23経営体増え、計555経営体が位置付けられました。

出席した委員からは、「集落営農組織の後継者育成が課題」「経営体間の連携が必要」「用排水路等の管理に対しての地域住民の理解促進が必要」等の意見があり、課題解決に向けてそれぞれが取り組んでいくことを確認しました。

出雲圏域では一昨年度から「多様な担い手の確保・育成プロジェクト」を立ち上げ、関係機関が一体となって人と農地の問題に取り組んでいます。その中の主要テーマとして「地域カルテづくり」を掲げています。

当農業普及としては、関係機関と情報を共有しながら、今回位置付けられた555経営体を核として、農地の集積と集約を加速させ、持続可能な地域農業を確立していくことにしています。